

平成30年度こんにやく原料需給計画

(単位:精粉20kg/袋)

項目	需 要 量 (消費量)	供 給 量					期末在荷量
		期初在荷量	国内生産量		輸入量	供給量合計	
			生産量	春切り量			
年度(30.11~2019.10)							
計画値計算式	a:注2①参照	b:前年期末	c:実績	d:前年並	e:注2⑤⑦参照	f=b+c+d+e	g=f-a
原料(国内・輸入) 数量見込	263,900	237,900	246,100	5,000	8,300	497,400	233,500
(前年度実績)	265,300	197,700	286,600	5,000	14,000	503,300	237,900
製品 輸入数量見込	23,800				23,800	23,800	
(前年度実績)	28,900				28,900	28,900	
合計	287,700	237,900	246,100	5,000	32,100	521,200	233,500
(前年度実績)	294,300	197,700	286,600	5,000	42,900	532,200	237,900
前年比(%)	97.8%	120.3%	85.9%	100.0%	74.9%	97.9%	98.1%

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおりである。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

①合計需要量は21から29年度の実績を基に回帰式を求め、これの予測値から287,700袋とした。

原料需要量は合計需要量から製品需要量(=製品輸入量)を引いて263,900袋とした。

②期初在荷量は、平成29年度期末在荷量237,900袋とした。

③生産量は、平成30年産(55,900トン)から算出(55,900×1,000×歩留(8.806%)÷20kg=246,128)し、246,100袋と見込んだ。

④春切り量は、前年並みの5,000袋と見込んだ。

⑤原料輸入量は、平成29年11月から2月における4ヶ月間の輸入実績の前年同期比増減率(-40.7%)を前年度1年間の原料輸入量に乗じて8300袋とした。

⑥製品輸入数量は原料輸入量と同様に、平成29年11月から2月における4ヶ月間の輸入実績の前年同期比増減率(-17.6%)を前年度1年間の製品輸入量に乗じて23,800袋とした。

⑦期末在荷量は、原料供給量合計(497,400袋)から原料需要量(263,900袋)を差し引いた233,500袋とした。